

学習プログラム開発をしよう

(B) グループメンバー

テーマ 家庭教育支援	市の概要 C
-------------------	------------------

<p>個人の要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悩みを抱える親や共働き家庭など、同じ立場の人が集い話し合う機会がほしい。 ・親が安心して預けることができる施設 ・地域の防犯 ・子育て、マナー、しつけ。 	<p>社会の要請</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク作り ・ボランティア育成 ・一人親家庭への支援 ・安全な環境 ・預かり施設
---	---

地域課題

- ・地域のつながりが希薄化している。
- ・子育てをしている親への地域ぐるみで取り組む支援のあり方。
- ・子育てをしている親が孤立化している。

学習目的

親が安心して子育てに取り組める環境を作る。

学習目標

親が地域と関わることにより、支援を得られるということを知る。
親同士で自主的に活動ができるようになる。

(B) グループ メンバー (

1 学習目的

親が安心して子育てに取り組める環境を作る。

2 学習目標

親が地域と関わることにより、支援を得られるメリットを知る。
親同士で自主的な活動ができるようになる。

3 プログラム名

わくわく！どきどき！みんなで子育て！

4 対象・定員

0～3才児の親 20名

5 参加費

(受益者負担を原則として、参加費を算定する。なお算出の根拠も明確にする。)

300～500円 (ピクニック用の材料費・おやつ代)

6 事前に必要な知識や準備物

民生児童委員さんや保健師及び各種団体に協力してもらう。
→ 孤立しているお母さん達を誘うため。

7 留意点

託児ボランティアが必要。
講師ボランティアは全て地域住民。

8 学習プログラムの展開

回・日程	学習テーマ	各回の学習目標 (◎) 学習内容	学習支援者	学習場所	評価 (振り返りの方法)
4月上旬 平日 10:00 ~11:00	はじめ まして	◎ 参加者同士の交流 ・自己紹介 ・アイスブレイク(親子で) 子どもと一緒に遊ぶ等の スキニッポ	地域の ボランティア ファシリテーター コメンテーター 保健師さん	公民館	アンケート 次回も参加 したいという 気持ちにな るようにつなげる。
4月下旬 平日 11:00 ~13:00	深まる	◎ 晴天 雨天 サンドウィッチ, おにぎり等を作る ミニミニピクニック レクリエーション 近くの公園に 出かける ・リズム遊び ・リトミック 読み聞かせ。	地域の ボランティア	近くの 公園 (雨天時は 公民館)	観察 親子・ボラン ティアの 様子を見る
5月上旬 平日 10:00 ~11:00	悩み 解消	◎ グループワーク(親子のゆかり) ↓ 地域の人, 民生児童委員, 親 ・お茶, お菓子などの食べあ ら, 子育てについて意見交換 (地域の人にお菓子などを作. てもらう。	ファシリテーター	公民館	アンケート (アンケートの視点) ・友達にできたか? ・悩みは解消したか? ・地域の人との つながりは?



ネットワーク作り

(ゆくゆくは, サークルとして)

◎ 親同士が自主的に定期的に集まる体制を作る。

親と地域が連携できる体制を作る。